

4月19日は「良いきゅうりの日」 西尾市へ冬春キュウリ266kg寄贈&出前授業も



愛知県西尾市は、県内キュウリ生産の中心地。

冬から春にかけて加温されたハウスの中で栽培を行う「冬春キュウリ」が主流で11月から6月上旬頃まで出荷を行っており、4月下旬から5月上旬は冬春キュウリの生産量が一番多くなるシーズンです。

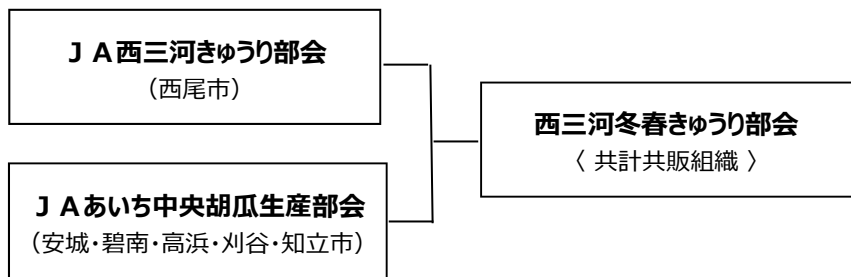
この時期の消費拡大を狙い、ブランドキュウリ「三河みどり」の消費PRにつなげようと「良(4)い(1)きゅう(9)り」の語呂合わせにちなんで、4月19日は『良いきゅうりの日』と制定。西尾市へキュウリを寄贈するとともに、地元小学校で出前授業を行います。



▲ふれあい給食で恒例の「キュウリの丸かじり」



▲キュウリの出前授業



※「良いきゅうりの日」は、西尾市のJA西三河きゅうり部会と碧南・安城市を中心としたJAあいち中央胡瓜生産部会の2部会で構成する「西三河冬春きゅうり部会」が設定(平成19年に日本記念日協会に登録)。

■キュウリ寄贈■

【日時】4月18日(月) 9:30~

【場所】西尾市役所 秘書広報広聴課 応接室1

【部会側出席者】

JA西三河きゅうり部会 たかお 太田孝夫 部長
しんご 鈴木真吾 副部長

★給食用として旧西尾市の小・中学校へ
キュウリ266kgを寄贈します

《献立名》三河みどり キュウリの中華和え

■キュウリの出前授業■

【日時】4月19日(火) 11:35~

【場所】西尾市立八ツ面小学校(体育館)

5年生&支援学級の子どもたちが参加します

※コロナ対策のため、ふれあい給食は今年も中止します。

「良いきゅうりの日」制定の翌年より、西三河冬春きゅうり部会では出前授業やふれあい給食・寄贈を実施。
「地元のキュウリはおいしい!」と児童に知ってもらおう&地域農業と食に対する関心を高める取組を展開しています



※コロナ情勢により変更となる場合がございます。お気軽にお問い合わせください。



【お問い合わせ・ご連絡先】
JA西三河(西三河農業協同組合)
〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15
企画室企画課 広報担当: 神谷
TEL: 0563-56-5214 担当者携帯: 070-1414-4251
HP: <https://www.ja-nishimikawa.or.jp/>
Eメール: kikaku@ja-nishimikawa.com



《JA西三河ホームページ》
その他のニュースリリースは
こちらからご確認ください

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関およびJAグループ愛知記者会あてに発出しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料(ニュースリリース)」ページにも掲載しています。

県内有数のキュウリ産地・愛知県西尾市

さらなる地産地消に向けて 量販店とも連携

■ `良いきゅうりの日` にあわせて 売り場コンテストを初開催！

愛知県西尾市で生産された冬春キュウリ「三河みどり」は県内をメインに、東海地区の量販店へ出荷しています。

今年度は売り場に設置するポスターやレシピ集(リーフレット)などを新たに制作し、「地産地消」を後押し！4月19日の「良いきゅうりの日」に合わせて売り場コンテストも開催します。



▲量販店と連携して売り場づくりに力を入れています



JA選果場で選別

■ 西三河地域のブランドキュウリ「三河みどり」

「JA西三河きゅうり部会」と「JAあいち中央胡瓜生産部会」は共計共販組織「西三河冬春きゅうり部会」を組織し、「**三河みどり**」のブランド名で冬春キュウリを販売しています。

主に県内市場へ出荷するため、消費者のもとへ届くまでの期間が短く、他産地よりも新鮮な状態で消費者のもとへお届け。その出荷量は、県内で生産される冬春キュウリのおよそ半分を占めています！！

「三河みどり」とは

水分が多く、鮮やかな色が特徴。
また皮が薄いためシャキシャキとした歯ごたえが楽しめます。

▶JA西三河きゅうり部会青年部では夏場以外でもキュウリをおいしく食べてもらえるよう、SNSでオリジナルレシピを紹介しています



Instagram

JA西三河きゅうり部会青年部
nishimikawa_kyuri



Twitter

きゅうりん。【西三河冬春きゅうり部会
マスコットキャラクター】
@kyuri_taberin



合計で取組み！

鮮度の高さはピカイチ！ICTで高品質を安定出荷

JA西三河きゅうり部会は他産地に先駆け、平成27年より部会全体で農業用ICTツールを積極的に活用しています。部会内でのノウハウの共有やICT機器を活用した厳密な栽培環境制御などに取り組み、より高品質なキュウリ生産につなげています。

【組織情報】(部会員数・出荷量等は令和2年度)

名称:西三河冬春きゅうり部会

部会員数:91人(西尾市のJA西三河きゅうり部会、碧南・安城市中心のJAあいち中央胡瓜生産部会の2部会で構成)

出荷先:愛知県内(約60%)をメインに、東海・北陸地方

出荷量:4,985ト(愛知県の冬春キュウリ生産量の50%以上)

販売額:13億9,400万円

《全国の生産概況》

全国のキュウリ出荷量:468,000ト(うち冬春キュウリ:266,200ト)

愛知県のキュウリ出荷量:11,800ト(うち冬春キュウリ:10,200ト)

10%当たりの収量(反収)は
全国平均の2.6倍!
高い技術力で高反収を実現